

出張報告書

津山市議会議員 中島完一

下記のとおり出張しましたので、報告します。

記

1. 出張期間 令和3年 11月 20日 ～ 令和3年 11月 21日

2. 出張先

富山県氷見市

4. 出張内容

氷見絆国際映画祭授賞式参加及び「ひみ番屋街」視察

氷見絆国際映画祭(案)

2021

開催趣旨

氷見市は富山県の西北、能登半島の東側付け根部分に位置する日本海有数の漁港であり四季を通じて156種類もの魚が水揚げされ、初夏の「マグロ」、冬の「寒ブリ」、そして「氷見イロシ」は広辞苑にも掲載されるほど有名です。また日本で初めて発見された洞窟住居跡「大境洞窟」や万葉の歌人大伴家持ゆかりの史跡など、歴史のロマンにも満ち溢れ、更に近年は「能登半島国定公園・氷見温泉郷」の名称でPRされている素晴らしい土地柄ですが、人口減少と少子高齢化の波が全国同様に押し寄せており、定住交流の都市づくりを目指しています。

「氷見絆国際映画祭 2013」は、そんな氷見の交流人口を向上させ、映画で元気なまちづくりを目指すとともに世界中の映画文化発信や映画映像ベンチャーの支援として、また、災害復興支援・被災地遺児孤児支援募金活動も行います。市民が文化芸術を楽しむ機会としてまた国内外から俳優や監督、映画関係者が来県することで、より多くの人々が助ける魅力ある「まちおこし」の期待を込めて開催致します。



氷見絆国際映画祭は、昨年新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止したが、今年第6回目として氷見市漁業文化交流センターにおいて開催された。

約50各品の応募の中から、最優秀地域映画大賞の他5部門の表彰があり、いずれも津山市の「十六夜の月子」と「ホルモン女」が受賞し、授賞式に参加した。



授賞式及び上映会は、

1.開会式

主催者挨拶 氷見市観光協会代表理事会長 松原勝久氏

来賓挨拶 氷見市長 林 正之氏 参議院議員 堂故 茂氏 氷見市商会議所会頭 寺下利宏氏
津山市長 谷口圭三氏(ビデオメッセージ)

2 授賞式

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 最優秀地域映画大賞 | 映画「十六夜の月子」 |
| ② 最優秀地域映画支援自治体大賞 | 岡山県津山市 |
| ③ 最優秀監督賞 | 映画「十六夜の月子」監督 頃安祐良 |
| ④ 最優秀原作大賞 | 映画「十六夜の月子」原作 山本 昇 |
| ⑤ 最優秀主演女優賞 | 映画「ホルモン女」山下リオ |
| ⑥ 最優秀助演女優賞 | 映画「十六夜の月子」jami |



3.舞台挨拶 津山市、津山市観光協会、津山文化振興財団、津山街デザイン創造研究所
津山国際環境映画祭実行委員会、津山ホルモンうどん研究会下記 10名登壇

- 1.今村弘樹 津山市産業文化部参与(谷口津山市長代理)
- 2.山本 昇 津山街デザイン創造研究所所長 (津山国際環境映画祭総合プロデューサー)
- 3.中島完一 津山市議会副議長(津山国際環境映画祭実行委員会副会長)
- 4.稲葉伸次 津山市観光協会副会長(津山国際環境映画祭実行委員会会長)
- 5.小坂田裕造 津山文化振興財団常務理事(津山ホルモンうどん研究会副代表)
- 6.福田大新 津山国際環境映画祭実行委員 (演出担当)
- 7.片岡憲治 津山国際環境映画祭実行委員 (カメラ・記録担当)
- 8.井上一 津山国際環境映画祭実行委員 (カメラ・記録担当)
- 9.頃安俊男 津山国際環境映画祭実行委員 (ロケ地設営担当)
- 10.福原博美 津山国際環境映画祭実行委員 美都津山庵(十六夜の月子ロケ地ホテル)総支配人

※代表者挨拶

今村弘樹 津山市産業文化部参与(谷口圭三津山市長代理)

稲葉伸次 津山国際環境映画祭実行委員会会長

4. 映画上映 最優秀地域映画大賞作品 「十六夜の月子」
津山市地域発信型映画 「ホルモン女」

- 5.閉会挨拶 氷見市観光協会代表理事会長 松原勝久氏

以上のように行われた。

映画祭に先立ち、20日にはひみ番屋街を視察。

ひみ番屋街は、氷見漁港場外市場として氷見まちづくり株式会社が運営。防災埋立地に4棟の飲食、物販棟からなる道の駅としての機能を備える施設である。

富山湾で獲れる魚介類を中心としたレストラン、生鮮加工品を販売する土産物店、足湯、そして富山湾越しに立山連峰を望む展望台などを備えている。

